

はにい 小さな作品の大きな世界 平成28年2月25日



ある幼稚園で行われた造形展です。

秋の自然物を生かして、オブジェを製作。

4歳児の作品。

お気に入りのY字型の枝に、まっすぐな枝を挟み込み、ぬくもりのある毛糸でくくりつけました。

隣のお友達は、長い枝を輪にし、針金で巻き付けています。

早速まねして作ってみると、先ほどの枝につるしたくなりました。

するとどうでしょう。

釣りざおとウキが出来上がりました。

「それじゃあ、お魚も作らなくっちゃ」

今度は、両手いっぱい粘土を使って、魚を完成させました。

そこへ先生が、「特別な貝がら」をくれました。
その貝がらを、なんと！？

えらの部分にはめ込み、ウキにパクッと飛びつこうとしている元気な魚になりました。

あとは、青く塗ったプチプチ（緩衝材）の上に置けば、大きな世界の出来上がりです。

こうして園児一人ひとりが、親しみやすい素材の感触を楽しみながら、豊かに広がる創造力と共に仕上げた作品がたくさん展示された造形展となりました。

一人ひとりを大切に見守る先生の「仕掛け」により、子どもたちの創造力がふくらんでいます。



【5歳児の作品】

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は inochi4027@pref.kanagawa.jp